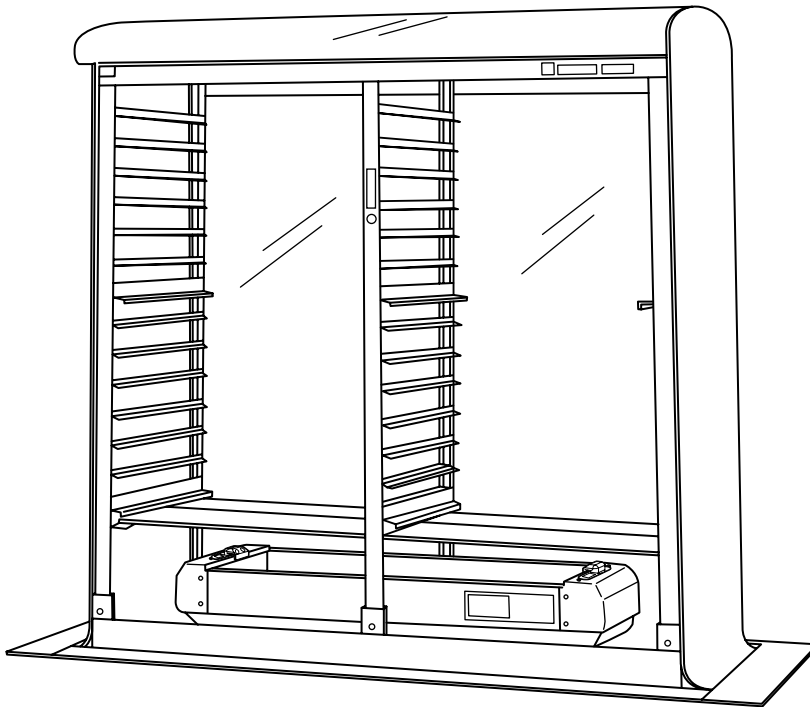


育苗器

棚・積み重ね兼用タイプ

組立て方



■複合蒸気式育苗器
KBS-E56LABB
KBS-E72LABB
KBS-E84LABB
KBS-E108LABB
KBS-E126LABB
KBS-E168LABB
KBS-E168LABB-1

■電熱式育苗器
KBS-56LCBB
KBS-72LCBB
KBS-84LCBB
KBS-108LCBB
KBS-126LCBB
KBS-168LCBB
KBS-168LCBB-1



安全のために


この製品を安全にお使いいただくため、必ずこの組立て方をお読みください。

誤った使い方をすると事故のおそれがあります。

お読みになった後も、必ず製品の近くに、保管してください。

育苗器をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

はじめに

- この「**組立て方**」は育苗器の組立方法と使用上の注意事項について掲載してあります。ご使用前には必ず、この「**組立て方**」をお読みのうえ、正しく組立てていただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず**大切に保管**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この「**組立て方**」を製品に添付してお渡しください。
- この「**組立て方**」を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または特約店、販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げ店またはお近くの特約店、販売店にご相談ください。
- 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- 育苗の際の取扱いについては育苗器ヒータの取扱説明書をよくお読みの上、作業をしてください。また取扱説明書には安全上のポイント「**安全に作業をするために**」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

目次

安全に作業するために 1

サービスと保証について 3

仕様と本製品の使用目的について 4

安全銘板の貼付け位置 5

各部の名称 6

組立て方 7~13

1. 保温シート 7

7. 天井アーチ 11

2. ヒータ 7

8. 天井ツナギ 12

3. 下つなぎ 8

9. 棚パネル 12

4. 中フレーム 9

10. 抜け防止ピン 12

5. 外フレーム 10

11. 拡散板 13

6. 上つなぎ 10

12. 催芽バット 13

13. ビニールカバー・保温カバー 13

育苗箱の並べ方 14

作業後の手入れについて 14

パーツリスト 15・16

安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害事故、機械の破損が生じるおそれがあります。



警告

電源は必ず漏電ブレーカの付いた専用コンセントから取る。

タコ足配線や、コードリールから電源をとってはいけません。

【守らないと】 コンセントやコードの容量不足で加熱して発火の原因になります。



警告

機器は雨水のかからない場所に設置する。

育苗器は、屋外に設置してはいけません。

【守らないと】 雨水等で機器の電気部分に水がかかると漏電して、感電のおそれがあります。



警告

ヒータ周辺に、可燃物を置いたり近づけない。

ヒータ周辺に可燃物を置いたり、ヒータの通気口を塞いではいけません。

【守らないと】 機器が加熱して、火災のおそれがあります。



警告

必ずアース(接地)して使用する。

付属のアース棒・アース線で接地すると同時に、電路に漏電ブレーカを入れてください。

【守らないと】 機器が万一故障漏電のさい、感電するおそれがあります。



警告

電源・配線コードを必ず点検する。

コードが他の機器の下敷になっていないか、傷ついたり破損していないか毎日作業前に点検してください。

【守らないと】 コードが損傷を受けていると、短絡や漏電の危険があり、ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



警告

煙が出たり、変なにおいや音がしたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。

【守らないと】 感電・火災の原因となります。

**警告**

電子サーモ・ヒータは、洗ったり、水をかけたりしない。

【守らないと】 漏電や故障の原因になります。

**警告**

電子サーモは湿気やほこりの多い場所に置かない。

【守らないと】 感電・火災の原因となります。

**警告**

指定の温度ヒューズ以外は使用しない。

【守らないと】 火災等の原因となります。

**注意**

部品交換は、純正部品を使用する。

【守らないと】 規格外部品の使用は、機器の安全を損なうおそれがあります。

**注意**

保守、点検、修理する時は必ず電源を切り、電源プラグを抜く。

【守らないと】 感電やヤケドのおそれがあります。

**注意**

製品改造は行わない。

【守らないと】 事故や製品トラブルの原因になります。

サービスと保証について

保証書について

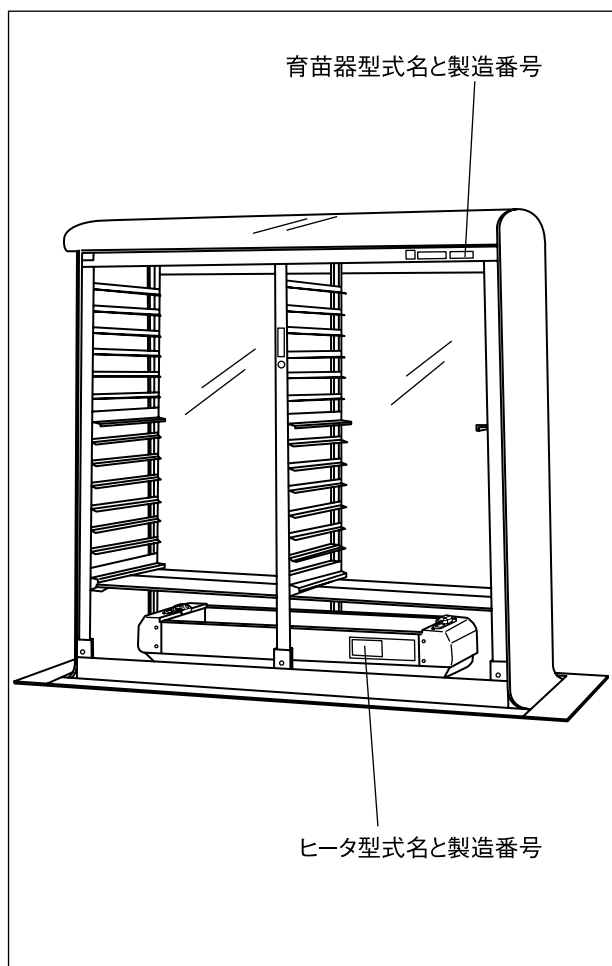
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に商品に近接して保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた特約店、販売店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 育苗器及びヒータの型式名と製造番号
- ご使用状況は？
(どんな作業をしていたときに)
(ご使用年数、購入年度は?)
- どのくらい使用されましたか？
(約□□箱または約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



補修部品の配給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

仕様と本製品の使用目的について

仕 様

タイプ	収容箱数（箱）		機体寸法（mm）			棚間隔（mm）
	棚方式	積み重ね	幅	高さ	奥行	
56	56	80	1350	1530	680	73
72	72	104	1350	1750	680	68
84	84	120	1350	1580	1040	73
108	108	156	1350	1800	1040	68
126	126	180	2005	1580	1040	73
168	168	240	2660	1580	1040	73

本製品の使用目的について

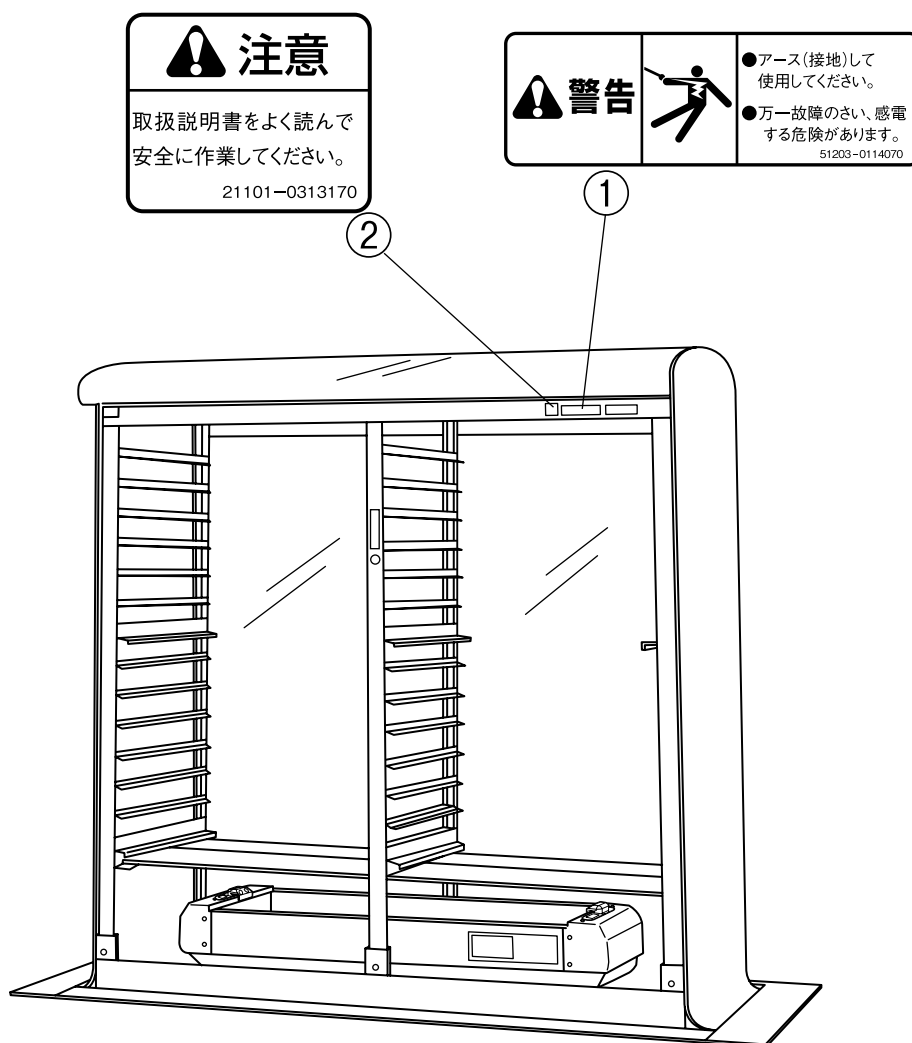
本製品は、水稻、野菜等の育苗用としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をされた場合は、保証の対象になりませんので、ご注意ください。

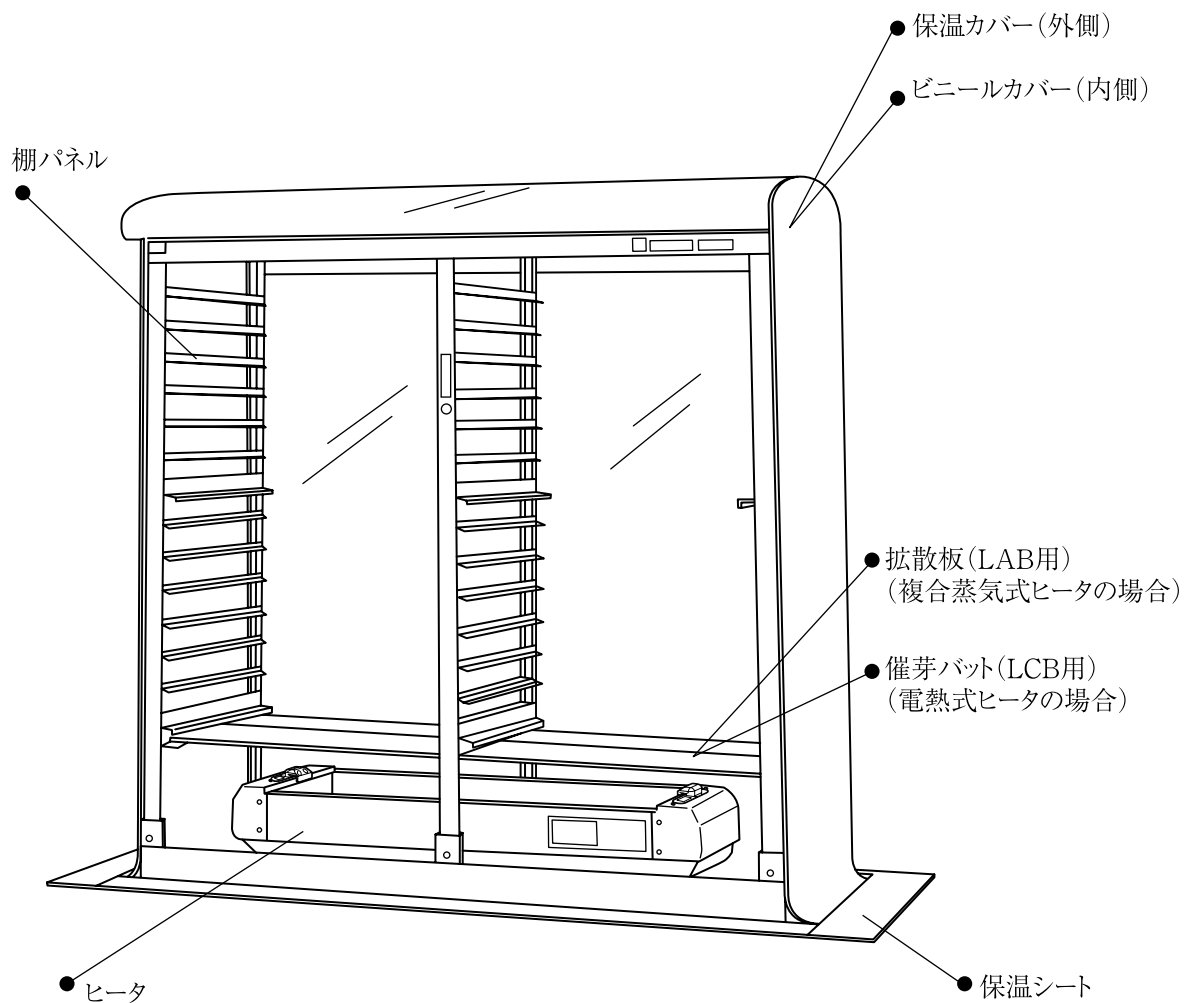
安全銘板の貼付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼付位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないよう保ち、もし破損、紛失した場合は新しいものに貼り直してください。
安全銘板の購入は、お近くの販売店にお申し付けください。



No.	部品名	品番
①	アース警告シール	51203-0114070
②	取説注意シール	21101-0313170

各部の名称



組立て方

1. 保温シートを敷く。



警告

機器は雨水のかからない場所に設置する。

育苗器は、屋外に設置してはいけません。

【守らないと】 雨水等で機器の電気部分に水がかかると漏電して、感電のおそれがあります。

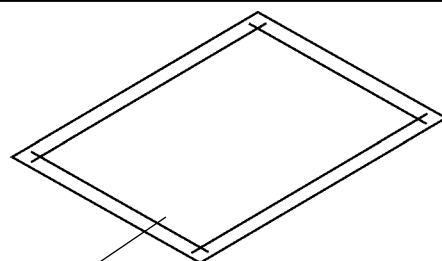


警告

育苗器は水平で安定した場所に設置する。

【守らないと】 育苗箱を積載時、転倒のおそれがあります。

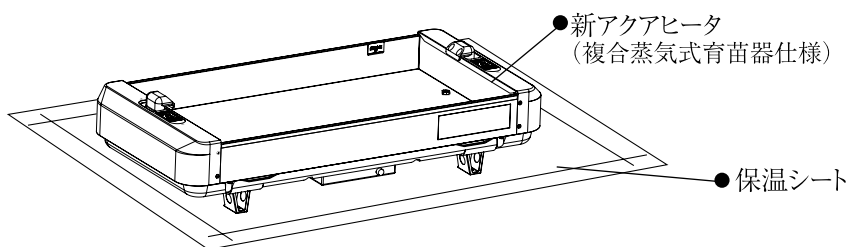
- 直射日光の当たらない場所に設置します。
- 風通りの少ない場所に設置します。
- 雨で水たまりにならない場所に設置します。
- 足場のよい水平な場所に設置します。



保温シート

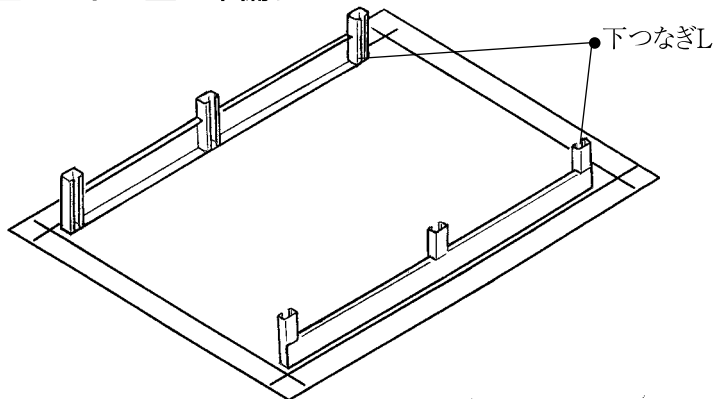
2. ヒータを仮置きする。

- ① ● ヒータの電圧は、出荷設定では200Vに設定してあります。
 - 56、72、84、108、126タイプでは、100Vに切替えることが可能です。
 - 168タイプは三相200V仕様であり、100Vでの使用は出来ません。
 - 168○○○○-1タイプは100V専用です。
 - ヒータの電圧を100Vに切替える場合は、フレームを組み立てる前に、「育苗器ヒータ」取扱説明書の「電源電圧の切替え」の説明に従って、電圧切替えを済ませておいてください。
- ② ● 「育苗器ヒータ」取扱説明書の「ヒータの設置」の説明に従って、ヒータを保温シートの上へ仮置きします。

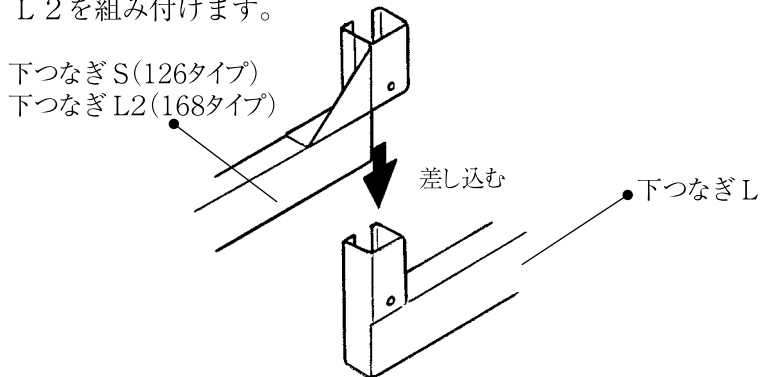


※以降の組立て手順図には、部品の形状などを判り易くする為、ヒータの絵は省略してあります。

3. 下つなぎを保温シートの上に準備する

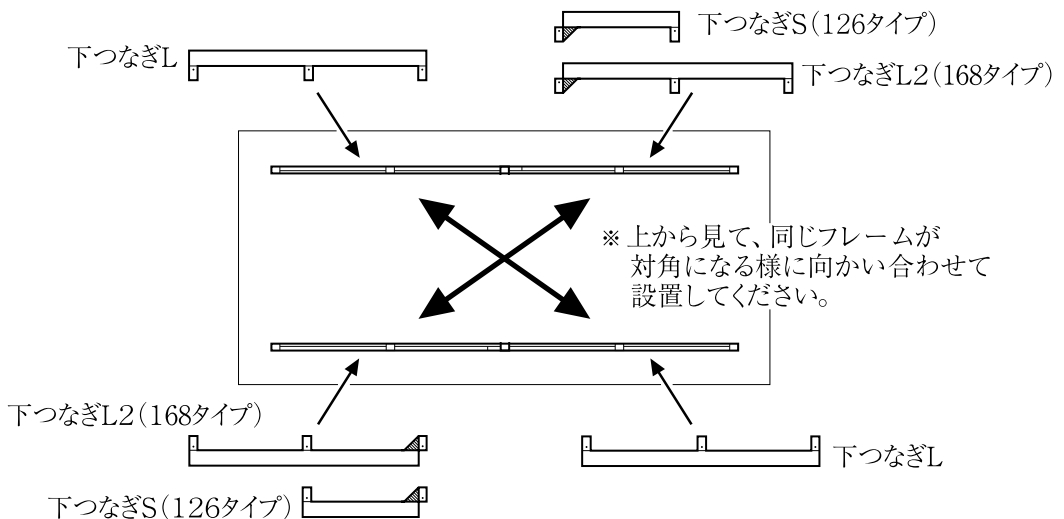


- ※ 中フレームを差し込むまでは、寝かせておいてもかまいません。
- ※ 型式が126、168タイプは下つなぎLに下つなぎS、下つなぎL2を組み付けます。

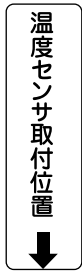
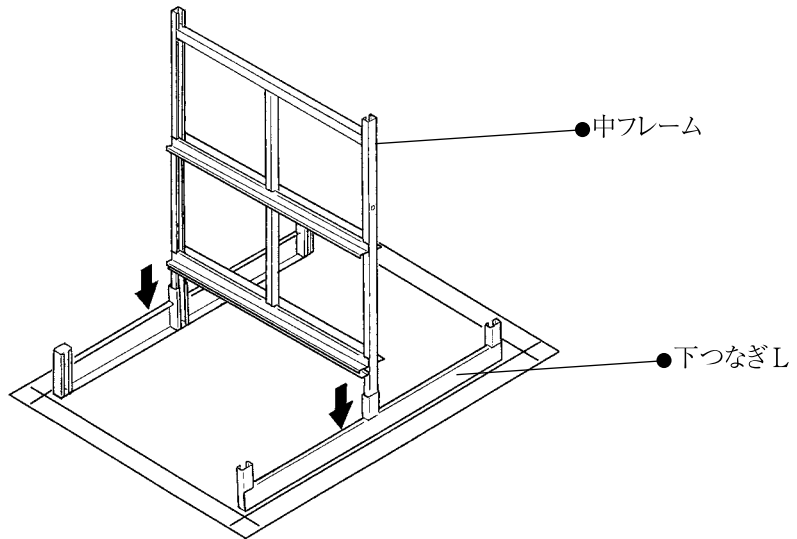


126,168タイプの下つなぎS, L2と下つなぎLの設置位置について (フレーム組立時の注意)

下つなぎS, L2と下つなぎLの見分け方:下つなぎ S, L2にはリブ(▲)が付いています。
下つなぎ L には付いていません。



4. 下つなぎに中フレームを差し込む



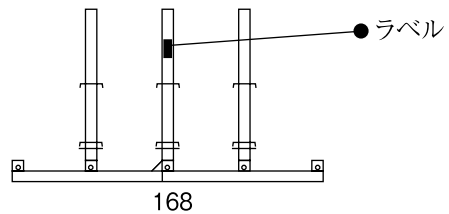
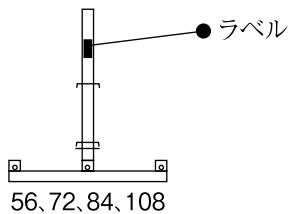
温度センサ位置ラベル

※下つなぎの底板を足で踏み、立てながら組み付けると楽です。
 ※中フレームに貼り付けてある「温度センサ位置ラベル」の位置に注意して組み付けて下さい。

（「温度センサ位置ラベル」が貼り付けてあるフレームは）
 1本のみです。その他のフレームにはありません。）

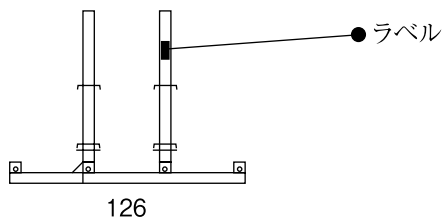
●型式が56、72、84、108、168の場合、

「温度センサ位置ラベル」が正面から見て中央になるように組み付けます。

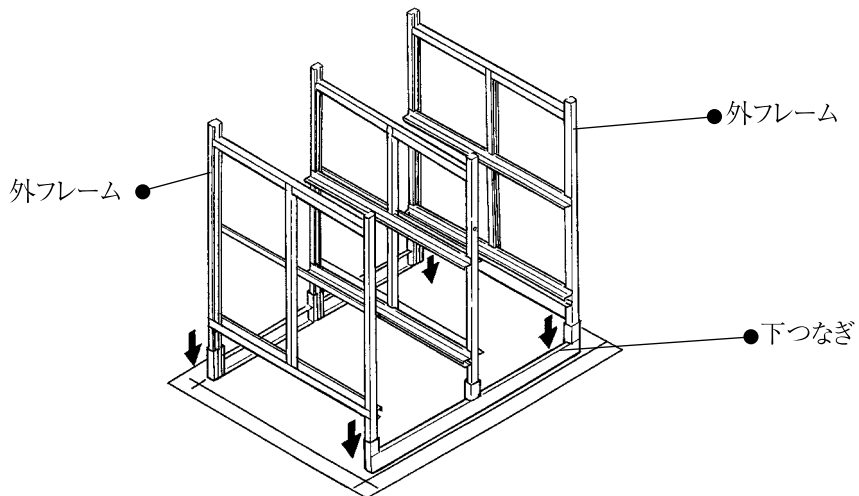


●型式が126の場合、

「温度センサ位置ラベル」が正面から見て右側になるように組み付けます。

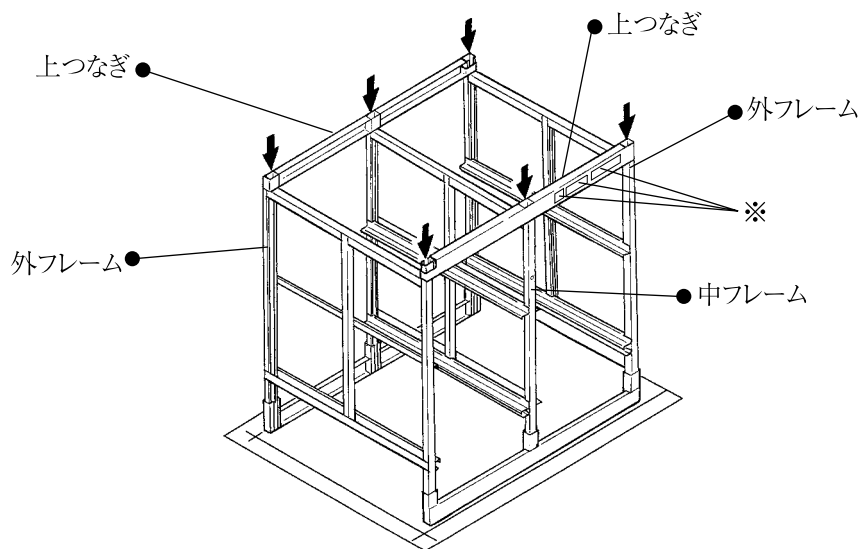


5. 下つなぎに外フレームを差し込む。



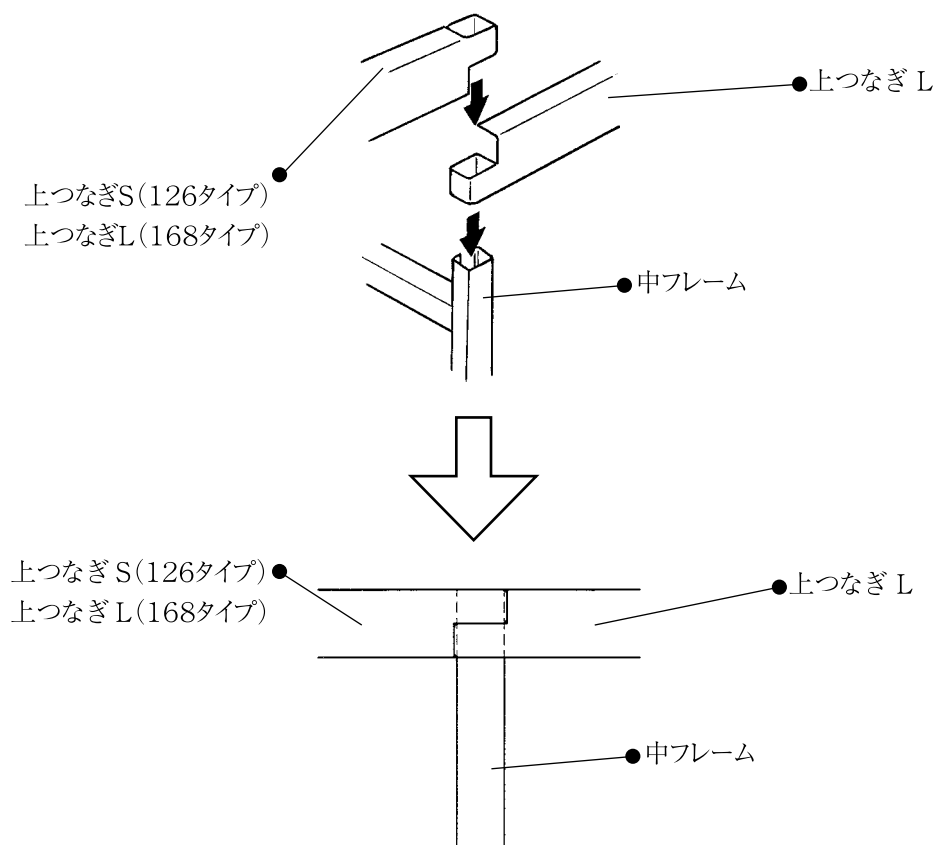
※ 外フレームは、棚の向きが、内側になるように組み付けます。

6. 中、外フレームに上つなぎを差し込む。



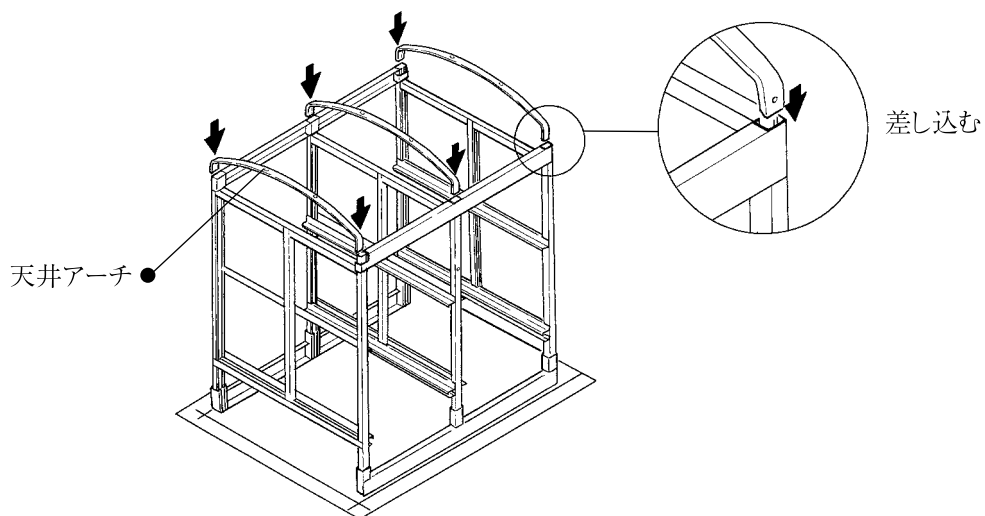
※上つなぎは、主銘板と注意ラベルが正面（総組付時）に来るように組み付けます。

※ 型式が126、168タイプは、上つなぎLに上つなぎS、上つなぎLを組み合せます。

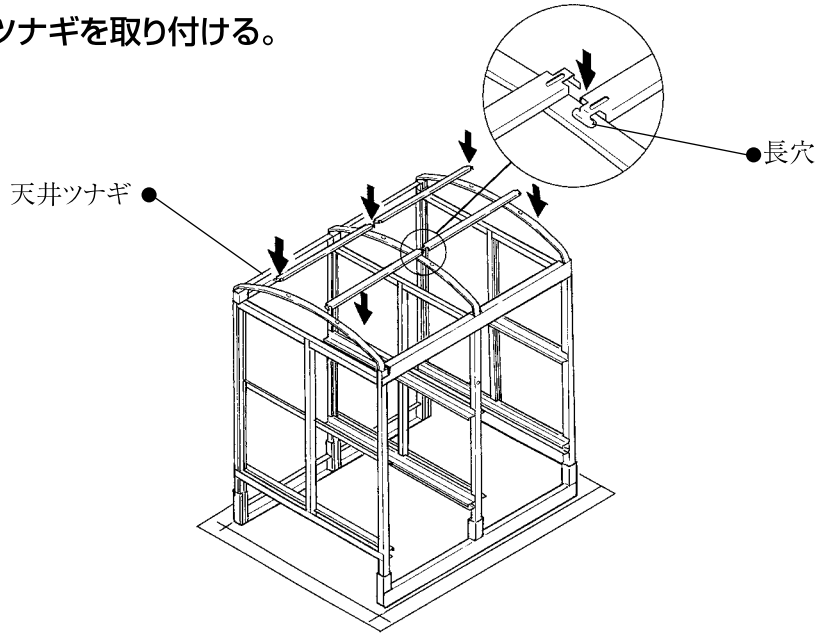


7. 天井アーチを取付ける。

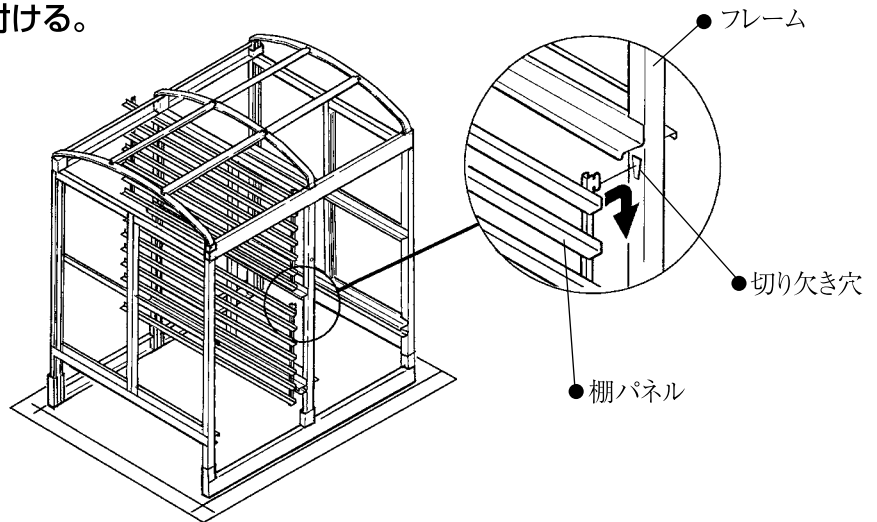
※ 中、外フレームの上側開口部に差し込みます。



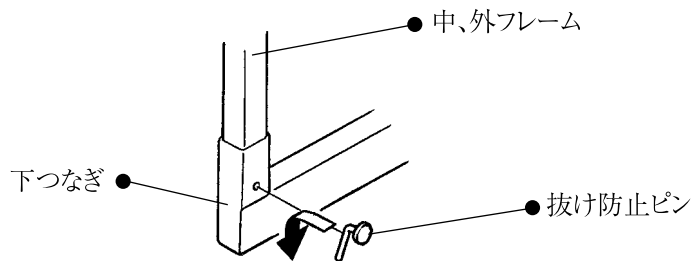
8. 天井ツナギを取り付ける。



9. 棚パネルを取り付ける。



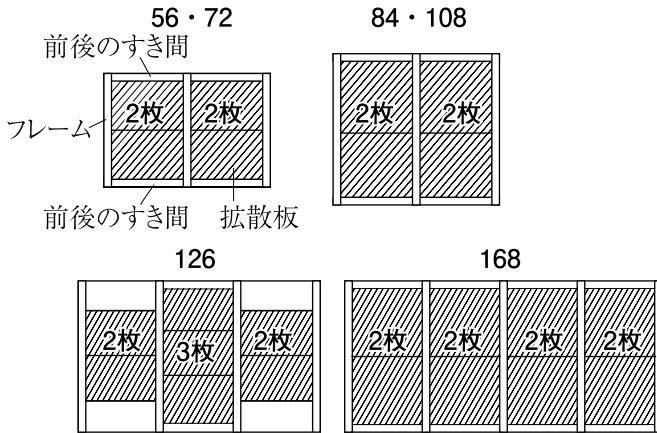
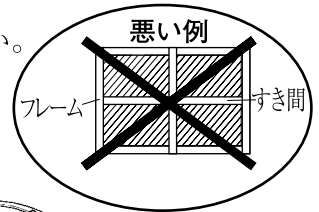
10. 抜け防止ピンを差し込む。



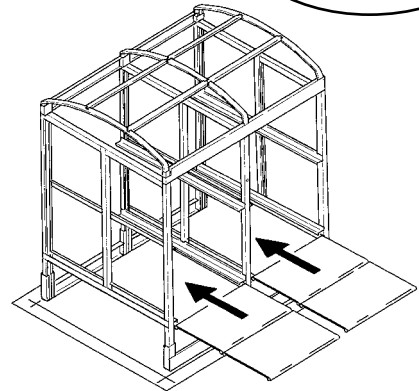
11. 拡散板を並べる。(複合蒸気式ヒータのみ)

※拡散板と拡散板の間は、必ずすき間を開けずに設置してください。

注：すき間を開けると出芽ムラや高温障害の原因となります。



※前後のすき間は均等にしてください。

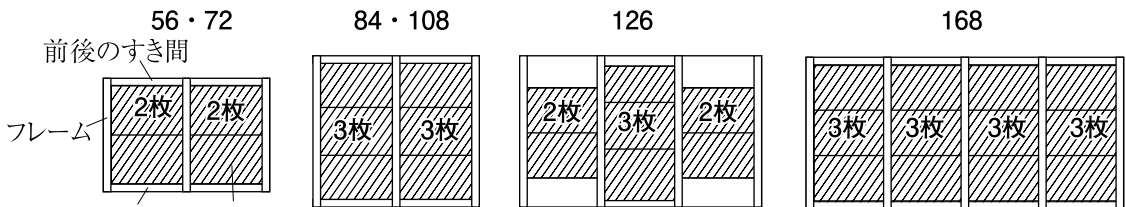


拡散板(複合蒸気式ヒータ)
催芽バット(電熱式ヒータ)

12. 催芽バットを並べる。(電熱式ヒータのみ)

※催芽バットと催芽バットの間は、必ずすき間を開けずに設置してください。

注：すき間を開けると出芽ムラや高温障害の原因となります。



前後のすき間 催芽バット

※前後のすき間は均等にしてください。

※拡散板不要

13. ビニールカバー、保温カバーをかける。

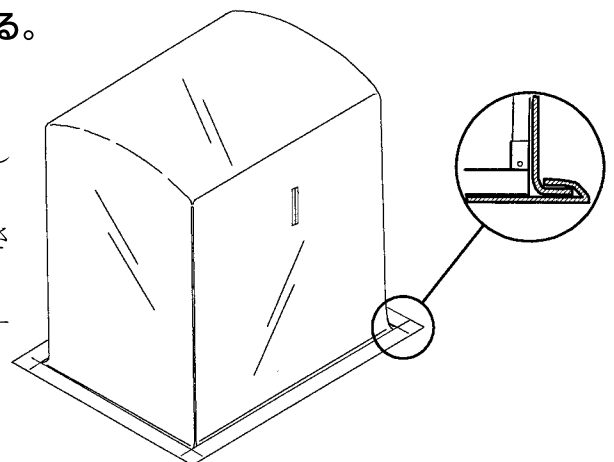
①ビニールカバーをかけます。

②保温カバーをかけます。

※保温カバーの裾を保温シートの折り返し部分に差し込んでください。

※すきま風が入らないように裾をよく押さえてください。

※外気が極端に低い場合には、さらにシート等で覆うと保温効果があがります。

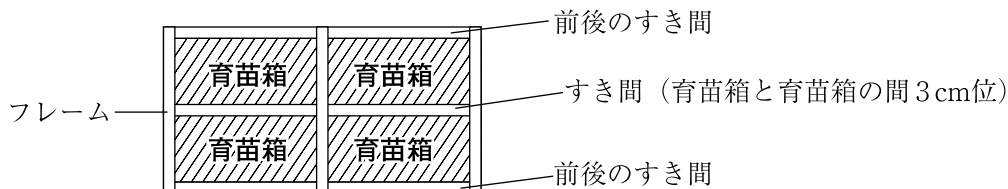


育苗箱の並べ方

1. 育苗箱を並べる

※育苗箱と育苗箱の間は、必ずすき間を開けて設置してください。

※前後のすき間は均等に開けてください。



注：育苗箱と育苗箱の間のすき間を開けないと、出芽ムラや高温障害の原因となります。

2. すべての育苗箱の設置が終わったら、ビニールカバー（内側）、保温カバー（外側）をかけて育苗を開始する。

注：育苗の方法は「水稻育苗のポイント」と「育苗器ヒータ・取扱説明書」をよく読んで行ってください。

作業後の手入れについて

長持ちさせるために、作業後は必ず機器の手入れを行ってください。

1. 作業後の手入れ



警告

作業終了後はヒータの電源を切り、電源プラグをコンセントより抜く。

洗浄する場合は、電装部分には絶対に水をかけない。

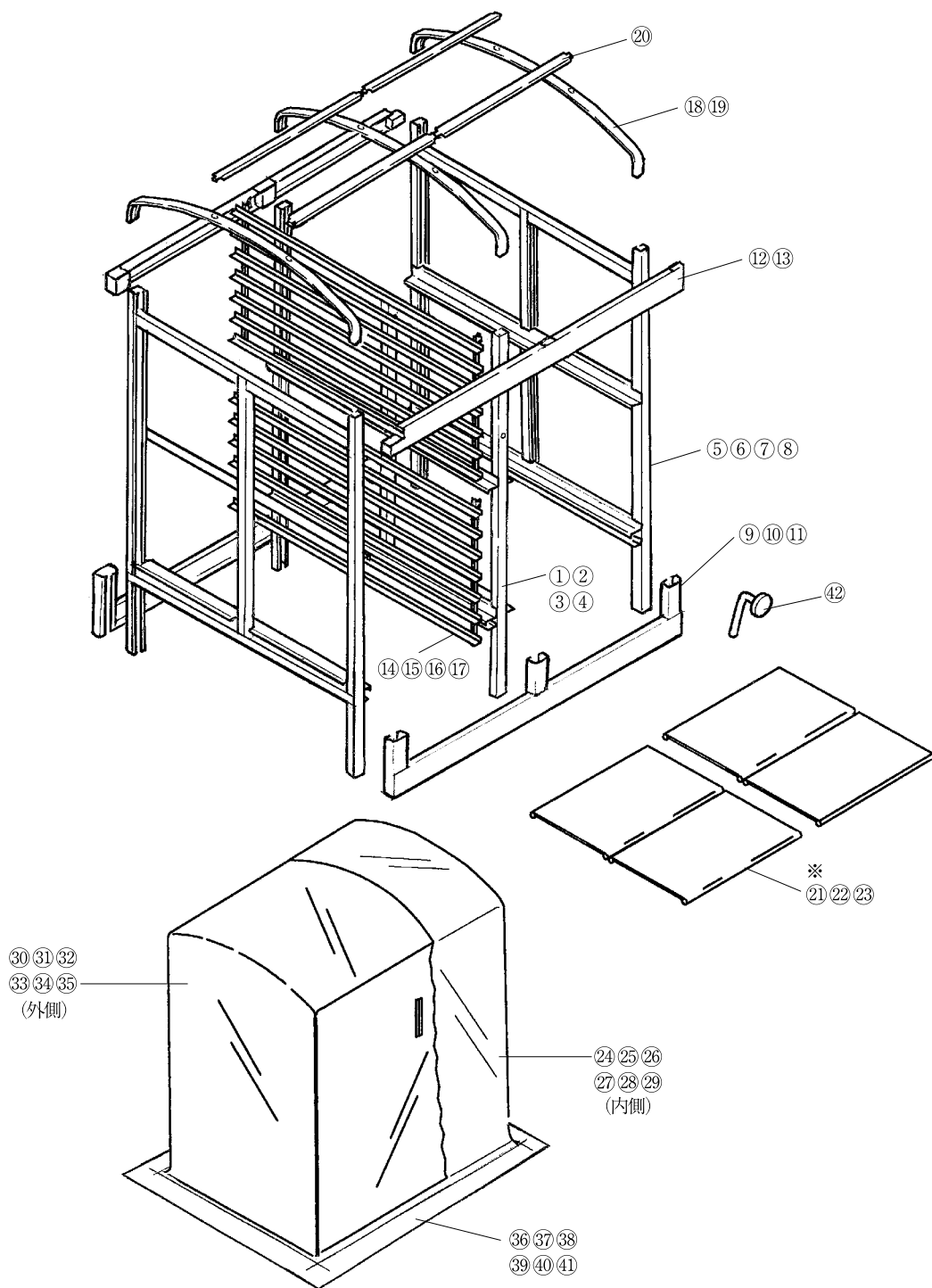
【守らないと】 漏電、感電のおそれがあります。

- 乾いた布、タオル等で育苗器についている水気をきれいに拭きます。

2. 保管

- 湿気のない乾燥した冷暗所に保管してください。
- 機器の上に重いものを載せないでください。
- 雨水等、水のかからない場所に保管してください。

パーツリスト



No	KBSコード	部 品 名	型 式						
			56	72	84	108	126	168	
1	042289	56 中フレーム	1						
2	042290	72 中フレーム		1					
3	042291	84 中フレーム			1		2	3	
4	042292	108 中フレーム				1			
5	042313	56 外フレーム	2						
6	042314	72 外フレーム		2					
7	042315	84 外フレーム			2		2	2	
8	042316	108 外フレーム				2			
9	042332	56・84 下つなぎ L	2	2	2	2	2	2	
10	042333	126 下つなぎ S					2		
11	042334	168 下つなぎ L2						2	
12	042347	56・84 上つなぎ L	2	2	2	2	2	4	
13	042348	126 上つなぎ S					2		
14	042358	56 棚パネル	8						
15	042359	72 棚パネル		8					
16	042360	84 棚パネル			8		12	16	
17	042361	108 棚パネル				8			
18	042370	56 天井アーチ	3	3					
19	042371	84 天井アーチ			3	3	4	5	
20	000007	56・84 天井ツナギ	4	4	4	4	6	8	
※	21	000121	拡散板	4	4		7		
※	22	000122	拡散板 W			4	4	8	
※	23	000169	催芽バット	4	4	6	6	7	12
	24	000440	56 ビニールカバー	1					
	25	000441	72 ビニールカバー		1				
	26	000443	84 ビニールカバー			1			
	27	000442	S型 ビニールカバー(108)				1		
	28	000444	126 ビニールカバー					1	
	29	000445	168 ビニールカバー						1
	30	264370	56 保温カバー	1					
	31	264371	72 保温カバー		1				
	32	264373	84 保温カバー			1			
	33	264374	108 保温カバー				1		
	34	264375	126 保温カバー					1	
	35	264376	168 保温カバー						1
	36	000415	56 保温シート	1					
	37	000415	72 保温シート		1				
	38	000418	84 保温シート			1			
	39	000419	108 保温シート				1		
	40	000420	126 保温シート					1	
	41	000421	168 保温シート						1
	42	042378	抜け防止ピン	6	6	6	6	8	10

※LABB、LABB-1タイプでは拡散板、拡散板W LCBB、LCBB-1タイプでは催芽バットを使用します。

製造元 株式会社 啓文社製作所

〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手739-6
TEL(0826)43-1201(代)
FAX(0826)43-1768
<http://www.keibuntech.com/>

お客様メモ

購入日	令和	年	月	日
購入店名				